



三条北ロータリークラブ週報

2013-2014年度

国際ロータリー会長：ロン D. バートン「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」

第2560地区ガバナー：山崎堅輔 「進めよう！職業奉仕の洗練化を！」

「備えよう！大震災の心構えを！」

三条北ロータリークラブテーマ「楽しくなければ ロータリーではない」

会長：丸山 勝

幹事：岡田 健

SAA：石黒 隆夫

例会日：火曜日12:30～13:30

例会場：三条ロイヤルホテル TEL34-8111

事務局：三条市本町3-5-25三条ロイヤルホテル内

TEL:0256-35-7160 FAX:0256-35-7488



HP : <http://www.sanjo-nrc.org>

AD : north@sanjo-nrc.org

本日の行事：「ライラ研修報告会」

- ◆本日の出席：70名中34名
- ◆先々週の出席率：70名中57名 81.43%
(前年同期 78.26%)

- ◆本日のゲスト：第13回ライラ研修生
丸山 祥君 (浅間家具店)
山口泰平君 (富士印刷)

- ◆先週のメイクアップ：(敬称略)

10月16日三条RCへ

山崎 勲、中條耕二

石黒隆夫、高橋彰雄

17日加茂RCへ 中條耕二

17日三条RACへ 丸山 勝

19日野球部試合 斎藤 正

岡田大介、吉田文彦、小林繁男

西村 護、駒形 実、佐藤秀一

高橋研一、平出富士夫

石川一昭、目黒由賀利

22日金沢南RCへ 笹原壮玄

22日分水RCへ 外山晴一

22日大谷徹英講演会

丸山 勝、岡田 健、石川一昭

大橋政雄、小林繁男、早川瀧雄

坂内康男、高橋研一、石丸 進

羽賀一真、石川友意、柄沢憲司



会長挨拶：丸山 勝会長



今日はライラ研修報告会です。青少年奉仕 浅間委員長、研修生2人の卓話よろしくお願ひします。

ライラですが地域奉仕会で奉仕活動をしている青少年をロータリー活動に取り込む必要があります。ロータリアンが経営する高校や企業に所属する若者だけでなく、今までロータリー精神に振れたことのない市中の若者に対していただく…と書いてありました。

10月17日 三条ローターアクトに卓話に行ってきました。なにしろ会員数が少ない(約10名)例会に出席した会員が武藤会長以下4名です。少しさみしいです。北ロータリーの会員の皆様ぜひ会社の若者をローターアクトに推薦して下さい。よろしくお願ひします。

幹事報告：岡田 健幹事



・山崎ガバナーより
地区大会記念ゴルフ大会参加のお礼

クラブ対抗戦は29クラブ
中14位でした

- ・米山学友会会長より
米山奨学生学友会総会のご案内
日時 2013年11月30日(土) 14:30～
会場 ANAクラウンプラザホテル新潟
- ・新潟県共同募金会三条支会より
街頭募金の報告とお礼

委員会報告：社会奉仕

- ・11月2日(土)「五十嵐川クリーン作戦」への参加のお願い
- ・本日の「大谷徹煇講演会」に多くの方の参加をお願いします。



◆ロータリー財団BOX：22日現在累計126,000円

米山 忠俊君 ライラ研修会発表ご苦労様です。浅間さんいろいろとありがとうございました。
石川 友意君 BOXに協力
外山 裕一君 久しぶりの参加です。BOXに協力

◆米山奨学BOX：22日現在累計149,000円

大桃 麻弓君 大野委員長に協力！
米山 忠俊君 米山奨学委員会いつも御苦労様です。頑張っている事に敬意を表します。
馬場直次郎君 ボックスに協力して！
落合 益夫君 米山奨学に協力
本間建雄美君 米山奨学をよろしく。
大野 新吉君 米山奨学会にいつもご協力下さいまして誠にありがとうございます。相棒が旅立ってから半年も経つのに今だ悲しみが・・・どうしたらいいのでしょうか？

◆ニコニコBOX：22日現在累計289,000円

丸山 勝君 浅間委員長、丸山さん、山口さんライラ研修ごくろう様でした。
石川 一昭君 先週の野球の試合 27対2で残念ながら大敗でした。11/4にリベンジします。
森 宏君 夜例会ではテストにご協力ありがとうございました。校長先生が6問正解で見事に
出題者の心理を読まれてしまいました。
渋谷 義徳君 心願成就。多謝
外山 裕一君 久しぶりの通常例会です。ちょっと時間ができる様になりました。
浅間 一洋君 本日はよろしくをお願いします。
岡田 健君 右手小指の骨を折ってしまい不自由しております。日頃の行いのせいでしょうか？
高橋 彰雄君 ノーコメント
石川 友意君 BOXに!!

本日の行事：「第13回RYLA研修報告会」

10月5日(土)・6日(日) 於：柏崎エネルギーホール・柏崎市産業文化会館



青少年奉仕 浅間 一洋委員長



今月 5 日、6 日と柏崎駅前にありますエネルギーホールと文化会館の 2ヶ所で第 13 回ロータリー・ユース・リーダーシップ・アワード（ライラ）が開催されました。

今回北ロータリークラブからは研修生としまして、山口泰平さん（富士印刷様）と丸山祥さん（浅間家具店）の 2 名とロータリアン、私 浅間一洋の 3 名を登録させていただきました。まずはご協力いただきました富士印刷 星野様、大変ありがとうございました。

また貴重な経験の機会をいただき北ロータリークラブの皆様へ感謝申し上げます。

前日ナビで 1 時間半との表示だったため、張り切って朝 7 時に出発し少しでも早くと考えておりましたが、なんと 1 番乗り会場に到着し有り難い事に開講式と基調講演を最前列で受講することができました。

張り切りが形となって嬉しいような、恥ずかしいような気持ちでございました。

柏崎ってケッコウ近いんだなーと感じております。

今回の研修は【「地域の資源・資産を知る・生かす・創る」あなたは自分の地域社会をどんな社会にしたいか、またこの研修を通じてより多くと知り合い、地域に仲間を作ること】とのテーマを与えられ研修が開始いたしました。

最初の基調講演では NPO 法人国際環境経済研究所理事・主席研究員であります竹内純子講師によるもので、様々な角度から新潟の資産をご紹介いただき楽しい講演となりました。

幾つか紹介しますと、1874 年から 1908 年まで新潟県の人口は 180 万人と日本で一番多かった事。なぜなら生活できる米が豊富であったため、だそうです。水力量は全国 4 位であること。郷土料理が 72 個もあること、まあ、笹団子とか、のっぺい汁とか、あつという間の講演でございました。

ちなみに当日は全国 B 級グルメ大会が同じ柏崎市内の近くの会場で開催されており、すきあれば柏崎の B 級グルメであります「鯛茶づけ」を少しだけ思っておりましたが講演が楽しく真面目に受講いたしました。

次にこの柏崎の資産・資源について実際に見学する「環境体験学習」を行うため柏崎夢の森公園へ移動いたしました。この夢の森公園は 30 ヘクタールという大変広い土地に里山を再生し、

自然農法を取り入れた畑や足湯などの施設があります。

ここで研修生と共にロータリアンも体験学習に参加させていただきました。

こちらで与えられたテーマは「持続可能な暮らしには何が必要か漢字 1 文字で表現してください」でした。皆様が発表した 1 文字表現は「水」「土」「人」知恵の「知」など納得できるものばかり。最後は出た答えどれもすべてが必要ということで締めくくりました。

ちなみに私が出した答えは樹木の「木」でした。こうゆう時でもやはり家具屋らしい答えが出てしまうものであります。

あるロータリアンの方がおっしゃった答えで素敵だなと思ったのが「愛」でした。

皆様からも「おおー」という歓声があがっておりました。広い土地を歩き森林を見て周るのですが、天候に恵まれ過ぎたため少し暑くなり途中で休憩される方もおられましたが素晴らしい体験学習をさせていただくことができました。

1 日目最後の見学は柏崎の資源であります原子力発電所にまいりましてこちらが考えるよりびっくりするような厳重なセキュリティになっておりまして飛行場の出発検査のような持ち物をレントゲンの機械に通し金属探知機のゲートをくぐりぬけ、小さいシャワー室のようなゲートを 2 つ、その後はもちろん防犯のためカメラ撮影禁止、さらに流行りの SNS にアップすることも禁止のところでした。

最後は原子力発電所の奥の奥である発電制御室や燃料プールの水が入っている所まで見学させていただきました。こちらでも本当に貴重な経験をさせていただきました。

また、ココまで見学できるのはロータリーだからですか？と聞いたところ、「そうです。」とっておられました。

見学は 5 人に 1 人の監視が必要だそうですが、ロータリーと申す申し込みをすれば少人数からでもよろしいそうです。

見学後はロータリアンの方々からいくつかの質問が上がり、防災について と防衛についてなど発電所の所長さんに細かく答えていただきました。

その後交流懇親会がありまして、ロータリー 2560 地区各クラブの皆様と研修生がシャッフルでテーブルにつき様々な職種の方と触れ合うことができる楽しい会でした。

また料理も素晴らしく、会場の壁側に屋台までずらり並んでおりまして、ここで頭の隅に引っかかっておりました念願の「鯛茶漬け」も堪能

させていただきました。御馳走様でした。
2 日目は研究生が昨日見学したこと 体験したことをふまえて、地域の資産・資源をどう生かすかをグループディスカッションし話し合いの成果を発表することになっておりまして、研究生がグループになり発表に向けて話し合いをしますが、ロータリアンも参加も可能とのことですが、若い方がどのように地域の資産や資源を生かすかを熱心に話しているのを聞いておりました。かなりまじめに話していたのが印象にあります。

ただやはり、常に我が北ロータリークラブの研修生が気になり最初から最後まで会場におりましたもので、仕事をしているより気を張り疲れたような気がします。

まるで父兄参観にしているような気持ちでおりました。

今回初めて研修に参加いたしました。研修生とロータリアンの距離が非常に近く、ロータリアンの方がディスカッションに多く参加されておりまして、10 のグループで発表のまとめをしていましたが、その内 3 グループほどが三条・燕を題材として話しており、馴染みのある「カレーラーメン」や「金物」などの単語が聞こえてくるディスカッションでありました。

各グループの発表は、発表することに慣れているグループ、緊張でガチガチになるグループなどありましたが個々の個性や地域をどう生かすか様々な意見が発表され若い力に期待する気持ちがさらに強くなりました。

研修の最後に講師の竹内先生から今回のまとめとして、地域を知って地域を考える事の中で一方を追求すれば一方が犠牲になるというトレードオフの考え方や バランスをとって考える事の難しさを伝えたい。またエネルギー問題を題材として さらに地の状態での環境体験学習、原子力発電所見学を行い「現実を知って現実的に考えること」の難しさを体験していただきたい。それが私の思いであるとおっしゃっていただきました。

まさに、ライラの目的であります、「学ぶ機会を提供すること」という目的は、達成できていた、とおもいます。

その後 研修生に修了証が渡され解散となっております。

来年のライラは加茂ロータリークラブで開催するとのことですが 7 名が参加されていましたが、日頃、当社加茂店でお世話になっている方が加茂ライラ実行委員長とのことで来年は、今回の柏崎ライラに負けないくらいの準備でみなさまを

お迎えするとおっしゃっておりました。私もメンバー様をご紹介頂き、しっかり営業してまいりました。

最後に今回ライラに初めて参加し、原子力発電所などの見学や幅広い人との交流、若い研修生の力に触れることができ私にとっても大変貴重な体験をさせていただきました。本当にありがとうございました。

研修生：丸山 祥 君(株)浅間家具店



10 月 5・6 日にライラ研修会に参加した様子と感想を報告します。

ホストクラブ柏崎ロータリークラブの柏崎市に行つて参りました。

研修テーマは「地域の資源・資産を知る・生かす・創る」でした。

1 日目の研修会場である、柏崎エネルギーホールでの開講式、次に講師竹内純子氏による基調講演があり、地域・資源、そして水芭蕉で有名な国立公園「尾瀬」の話をお聞きしました。

講演が終わってオリテーションをしながら昼食を頂きました。その際に 2 日目に一緒に行動するグループの方に自己紹介と顔合わせをしました。

1 日目の「夢の森公園」では、ガイドの元、菜種の搾油体験。そこでは空き缶をコンクリートに混ぜて手作りの石段を作ったり、花壇など薪を使った足湯などもあり自然と共存している良い所でした。

つぎに今回の研修のメインである柏崎刈羽原子力発電所を見学しました。

福島第一原子力発電所の事故から原子炉停止中の柏崎の今を見学するのも、少し複雑な気持ちもありましたが見学させてもらいました。

原子炉がどのようにして作られているか、そして安全対策が今どれくらい進んでいるのか、対策をどのように考えているのか、それらの話しを社員の方から聞きながら厳重な警備の中、敷地内を案内して頂きました。

福島事故を踏まえて浸水・電源の確保・フィルタベントによる放射性物質の拡散防止・地震への対応をしているのを自分の目で見て、事故が起きる前になぜ対策していなかったのか、想定外の地震で済むような事ではないと思っています。

今も帰れない人たちの救済処置などを含めて東京電力はまだまだする事があると思います。火

力発電によるコストの増大により早く再稼働したい東京電力の気持ちも分かりますが、そのために電気料金が上がってしまう事もやむを得ないのかと思っておりますが、電気料金が上がり今よりも生活が苦しくなっていくことも目に見えています。できる事ならば、料金を上げてほしくはありません。

自分は原子炉再稼働には安全対策をしっかりとして、国民が不安にならないようにして今ある問題を改善してもらえれば賛成です。

1 日目の夕食は交流懇親会があり、沢山の方々と食事をとりました。色々な話をしながら関わることができ、楽しく食事を頂くことができました。宿泊施設はシーユース雷音でした。

2 日目は早朝ウォーキングがありました。朝食後はグループディスカッションを行いました。研修テーマである「地域の資源・資産を知る・生かす・創る」です。

グループの皆さんと話をし、資産をどのようにして行けばいいのか？どのような社会にして行きたいのか？を考えることができました。

最後にグループ毎に纏めた内容の発表を聞き、色々な考え方があり、いい勉強になったと思います。以上が2日間の研修報告と感想とさせていただきます。

良い経験をさせて頂き大変ありがとうございました。

研修生：山口泰平君 富士印刷(株)



この度は二日間を通して貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。

正直なところ、私は今までロータリークラブというもの存在すら知らず研修に参加することになった時も「研修って一体何をやるんだ？」という状況でした。しかし結果として非常にタイトなスケジュールでキツイ部分もありました参加できてよかったと思っております。

テーマ「エネルギー」そして「地域社会・資源・資産」。日常生活において欠かせない物ではありますが、その身近さゆえに特に意識して考えた事はなかったかもしれません。

夢の森公園では効率優先の現代とは逆行したような自然そのもののちからをいかした様々な取り組みを見ることができました。

「安定した生活には何が必要か、漢字1文字で表して見て下さい」職員の皆さんの問いに、私は初め「食」が思いつきました。森を歩き、農

園を見て、建築を見て、それぞれ全てが循環しているような気がしました。どこかで生まれた資源資産はどこかで使われていて。その使用先でもまた同じ何かを生み使われている。

1 文字で表すのであれば「環」という文字で最初に思いついた「食」はその中の一部でしかなかったと感じました。

今何かと話題の原子力発電所に行き、テレビでしか見たことのなかった光景を自分の目で見て、そしてその現場で働く方たちの声を聞くことができました。

「あれはウソだった、これもウソだった」「あれが壊れた」テレビでは悪いことばかりが大きく報道されます。確かにそういう事実もあるかもしれない。

福島での事態を踏まえて、ここ新潟の柏崎原発ではどのような対策が行われているのか。そういった情報は日常ではほとんど知ることができない気がします。

実際メディアで東電が・・・・原発が・・・・と聞くと「またなんかやらかしたのか？」と思ってしまう。

実際に原発という施設の中に入り、数々の防災・事故対策を見て、知ることができました。

堤防の増設、建物の補強などはかなり大規模で福島事故からの期間でよくここまでできたな、と思うほどしっかりとされている印象でした。そして「ここが不十分だった」という根拠がその全てにありました。

「こんなにみんなに嫌われ、無くせと言われていたら。儲けの為だけでやっているならこんなことやめた方がいい。けどそうじゃない、原子力発電というエネルギーは日本の社会を支える為に必要なんだ」という所長が言っていた言葉も印象に残っています。

普段自分が使っている電気などのエネルギーについて、いくら位使ったのかを気にすることはあっても、どこでどのように生まれどう循環しているのかを考えた事はありませんでした。

自然の中で発見した「環」という言葉が、様々な人やエネルギー、資源に囲まれた日常の中にもあることに気付くことができました。

グループディスカッションでは、グループでの話し合い、他のグループの発表を聞く中で柏崎の鯛茶漬け・三条の金物などをはじめ新潟には様々な資源、資産が有ることを再認識できました。

そういった資源資産は改めて見てみると、当たり前のように生活の中にある物が数多くあるように思えました。

以前、他県から新潟に引っ越して来た友人が初めて新潟で冬を迎えた時に雪の量にも驚いていましたが、消雪パイプをみて「道路から水が出てる！」と言っていたことを思い出しました。雪が積もることも、何年何十年と新潟で過ごしている私達には当たり前で雪が積もれば消雪パイプが動くのも当たり前で、むしろ雪なんか嫌いだという人もいるのではないのでしょうか。新たに何か新潟らしいものを提案する事も大切だと思いますが、以外と身近に溢れている。当たり前すぎて気にしていないけれど、意識するとよくみる物こそが私達の資産と呼べるのかもしれない。そしてその資源や、資産をどう活かすのかを考えた時に、方向は様々でしたがほぼ全てのグループが「新潟をもっとPRする」ことに活用することを提案していたように思います。

私達のグループでまとめた意見も、新潟出身の有名な漫画家が沢山いるのでそれを活かし、新潟という地域を沢山の人に知ってもらおうという内容でした。新潟市内をイラストの描かれたバスが走っていたり、銅像があったりなどありますが、最近では物語の舞台となった地域を訪ねる人たちも沢山いるようなのでそういった部分を活かせば面白くできそうな気がします。外にも、例えばですが、街路樹のイルミネーションではなく、消雪パイプを噴水のようにイルミネーションするなど、私達にとってちょっと嫌な部分もある物を良く見せる工夫をすることで、他の地域から来た人が珍しがることが更に

目を惹く「資源」になるような試みも面白そうな気がします。

グループで発表した内容とかぶってしましますが、私たちの暮らす新潟の魅力を伝えるには、何よりも私たち自身がまず知らなければならない。

自然についても、エネルギーについても、自分が暮らす地域についても、初めての発見が沢山ありました。

会社では年2回、社員みんなで地域のゴミ拾いの奉仕活動を行っています。途中、地域の方との挨拶やふれあいが有ることもあります。そういった機会こそ知るチャンスと捉え意識していきたいと思います。

実際に自分で見聞きする事の大切さにも気づかされました。反原発派だったけど実際見てみると意外と……。森とか泥だらけになるし嫌だったけど意外と……。なんていう方も中にはいらっしゃるのではないのでしょうか。

最後に「私達自身が」知り考えなければ、そんなことを経験のある先生方、同世代、自分より若い世代の様々な業種の方達とふれあい、話し合い、気づく事のできる機会を与えて下さったロータリークラブの皆様に感謝を、そして今後もより多くの人たちにそういった機会を与えて頂けるよう、ますますのご発展を願いたいと思います。

本当にありがとうございました。

11月のお祝い

誕生日	結婚記念日
会 員	ご夫人
小島 茂男 1	丸山 淑子 8
小林 幹扶 10	佐藤ミチ子 9
石黒 隆夫 13	落合千鶴子 16
佐藤 義英 18	柄沢 憲司・佑子 3
坂内 康男 18	小林 幹扶・明美 3
丸山 勝 26	金子太一郎・節子 3
岡田 大介 27	青木 省一・征子 5
	山口 龍二・ミチ 7
	丸山 正男・夏子 11
	今井 克義・房子 14
	高森 武志・登茂子 14
	下村 啓治・宏子 14
	浅野潤一郎・正子 15
	羽賀 一真・麻美 18
	石丸 進・咲子 23
	駒形 実・隆子 30

